

進路部だより

年度末特別号

(2016-第12号)



2017. 3. 3.

宮城県岩出山高等学校 進路指導部

卒業式も過ぎ、3年生たちはそれぞれ自分の未来に向かって岩出山高校を旅立っていきました。とっかえひっかえいろんな3年生で賑わっていた進路室もすっきりと落ち着いております。3年生に遠慮して進路室に顔を出せなかった1・2年生諸君、ぜひ、この機会に進路室に遊びに来てみて下さい！

一方、残された1・2年生諸君は学年末考査も終わり、いよいよ、1つ上の学年へと進級していくことになります。

イメージできてますか？ 2年生諸君は、来年の今頃はすでに自分の進路が決まっています、岩高を卒業して自分の未来へと歩いているはずなのです！

学年末考査の答案返却も終わるとしばらく学校に来なくてよい日が続きますが、**3月17日(金)**は出校日となっていて**全学年対象の進路別ガイダンス**となっています。1年は2年に向けてそろそろ自分の進路を真剣に考えなければなりませんし、2年は3年に向けていよいよ自分の進路を具体的に決めなければならない重要な時期です。まだ自分の進路がぼんやりしている人も既にしつかりと将来の目標が定まっている人も、この機会を利用してぜひ「自分がなりたい将来像」を再確認し、新年度からはじまる4月から力強く動き出せる力を養ってもらいたい。

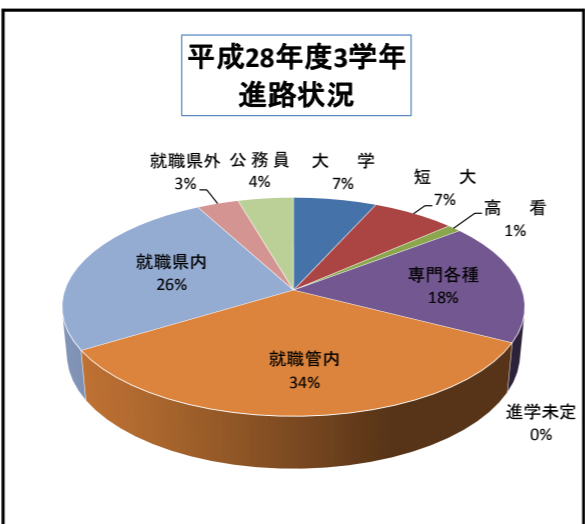
さて今回は、きたる進路別ガイダンスに先立って、今年度の3年生の進路概況を総括しつつ、1・2年生諸君が自分の進路実現に向けて今後どう動くべきか、参考にしていただきたいと思い、ちょっと力を入れて作っちゃいました。

◆平成28年度3学年 進路概況

右の表が今年度の3学年の進路状況です。進学決定29人、就職内定60人で、アルバイトやフリーターなども出ず、全員進路が決定しました。

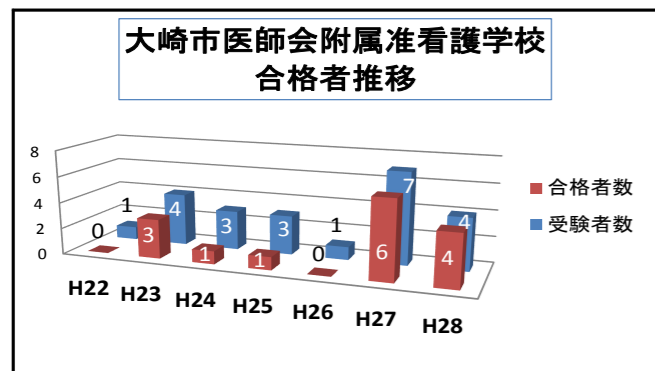
これで4年連続で進路100%達成です(^_^)

内訳は、右のグラフの通りです。



◆進学について

今年、各大学、短大、専門学校などでも様々な動きがあった年でした。本校に関わりがあるところでは、東北学院大学の工学部が大幅な学科改編を行い、その関係で指定校枠の見直しがなされました。本校には工学部から2名、他学部から1名の計3名の指定枠があったのですが、長年、工学部への進学希望者が現れなかったためにこの2名の枠がなくなりました。その代わりに他学部が1名増え、計2名の指定枠となりました。地元の誠真短大には、ここ数年連続して本校の生徒が入学し活躍しているということで今年指定枠が3名から4名に増えました。また、今年の4月から新しく葵会仙台看護学校が開校する関係で、指定枠1名をいただきました。看護系では他に石巻赤十字看護学校が今年から新しく推薦入試を導入することになりました。来年度には、仙台赤門短期大学看護学科が新設され、看護師希望者にはまた一つ選択肢が増えることとなります。宮城県は全国的に見ても看護師希望者の数の割に看護師養成学校の数が非常に少ないことで各方面から批判を受けているわけですが、今年の動きもそれに呼応する形なのかとも思われます。新しい看護学校が新設されることで、看護師希望者が多少は分散され倍率が下がるのではないかと期待されます。しかし、現実はそのほど甘くありませんでした。本校からも、どうしても高専に入りたい、と石巻赤十字の推薦や葵会の一般を受験した生徒がいましたが、どれも高倍率の激戦となり、惨敗でした。結局は、1つ2つ学校が増えたところで、宮城県内の看護師希望者の数はその許容範囲を超えており、かなりの学力がなければ宮城県内の高等看護学校には入学できないというのが現状です。



大崎市医師会附属准看護学校 合格者推移

一方、病院で働きながら看護師を目指す就職進学の方では、大崎市医師会附属准看護学校への合格状況は好調でした。例年は40名の定員に対し120名を超す応募者で激戦となっていた大崎准看ですが、昨年度は98名の応募者に本校から7名受験し6名合格。今年度は応募者は89名にまで減り本校から4名受験し4名全員合格できました。応募者が減ったとは言え、2倍強の倍率の中での合格なので十分立派です。

右の表は、過去7年間の大崎准看の合格率と評定平均値の関係を表したもので、合格者の評定と不合格者の評定をまとめてみました。例年の結果から、多少の例外はありますが、おおそ評定平均値4.0が可否の境のように思われます。看護師希望の生徒諸君は、ここらへんをめやすに勉強に取り組んで下さい。

大崎市医師会附属准看護学校 合格者推移

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
受験者数	1	4	3	3	1	7	4
合格者数	0	3	1	1	0	6	4
合格者(評定値)		4.4	4.4	3.5		5.0	4.9
		4.2				4.9	4.8
		4.1				4.3	4.8
						4.2	4.4
不合格者(評定値)	3.5	3.7	4.0	3.5	3.4	3.8	
			3.5	3.4			
合格率	0.0%	75.0%	33.3%	33.3%	0.0%	85.7%	100.0%

◆就職について

右の円グラフは、3年生の就職先を産業別に分類したものです。製造業が41%と最も多くなっています。大崎管内はもともと製造業が盛んな地域なので、これは例年通りではあるのですが、例年では30%前後のところ、今年は40%を超えており傾向がさらに顕著に表れています。

次に多いところで、運輸業と医療福祉業がそれぞれ10%です。運輸業では今年東北センコー運輸が仙台港に新しい拠点を設けた関係で、宮城県全域で大々的な高卒求人が出ました。その関係で、本校からも3名採用されました。医療分野では古川星陵病院を運営している医療法人華桜会が古川稲葉に新しく星陵あすか病院という主に人工透析を中心とした医療施設を今年の5月開設に向けて現在建設中です。こちらも多くの人材が欲しいとのことで昨年度から看護師希望者向けの高卒求人を積極的に出しています。この関係で、今年度本校から4名採用されました。

今年の3年生の顕著な点は、新規事業所への内定が多かったことです。過去岩出山高校と縁がなかった事業所であったり、ここ数年、採用にめぐまれない事業所に数年ぶりに採用されたり、そんな形で、今年の3年生は過去の岩高生ではなかなか行けなかった事業所への内定を勝ち取った生徒も例年よりも多く出ました。

	H28	H27	H26	H25
内定した事業所数	39	44	39	49
新規事業所数	12	7	8	21

岩高の就職状況では平成25年度から内定率100%を維持しているわけですが、平成25年度はある意味特殊な求人状況だったと言えます。平成20年のリーマンショックと平成23年の東日本大震災でダブルパンチをくらった宮城県内の地元事業所からの高卒求人は減少傾向にありました。そこへ復興支援で他県から多くの事業所が参入する形になり、平成25年はようやく軌道に乗り始めた地元事業所の求人と新規参入してきた事業所の求人があいまって求人件数が跳ね上がった年でした。その中で就職活動ということもあり、平成25年は例年になく多くの新規事業所への内定がありました。しかし、この年を除けば、今年の3年生が積極的に新規の事業所を応募したことが窺えます。

では、具体的にどんな事業所に内定できたのか。

久々に採用していただいた事業所と、今年初めて採用していただいた事業所をあげてみます。

【久しぶりに採用していただいた事業所】

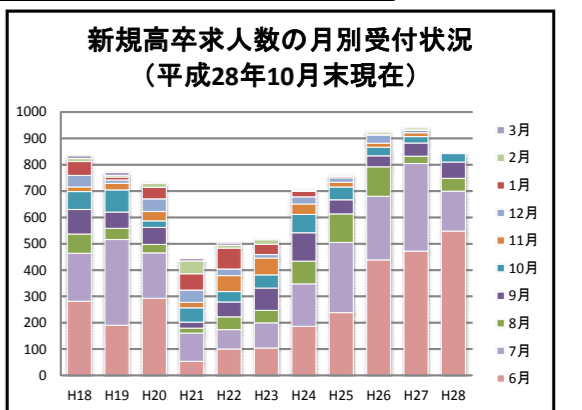
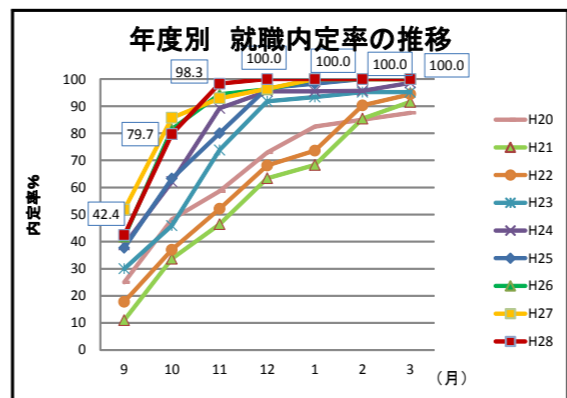
株式会社 東北イノアック (18年以上ぶり)、大崎市役所 行政職 (18年以上ぶり)、株式会社 緒方製作所 (13年ぶり)、株式会社 ピックルスコーポレーション (13年ぶり)、有限会社 パレット (9年ぶり)、ケミコン宮城 株式会社 (6年ぶり)、株式会社 サンエーテック (5年ぶり)、古川エヌ・デー・ケー株式会社 (4年ぶり)、株式会社 北光 (4年ぶり)、株式会社 ハンサム (4年ぶり)、医療法人盛真会 青葉第二歯科 (3年ぶり)、自衛官 一般曹候補生 (8年ぶり)

【今年初めて採用していただいた事業所】

宮城シマダヤ 株式会社、日昌 株式会社 東北工場、株式会社 ピュアスポーツ、有限会社 ジーエル青葉、中央精機東北株式会社、みなみかた歯科医院、株式会社グリーンテック 宮城営業所、株式会社 友美、コカ・コーラ・イーストジャパン株式会社、一般財団法人日本ボディセラピスト協会、株式会社 ショウトク

◇今年度の求人状況をみる

右上のグラフは過去10年間のハローワーク古川が受領した高卒求人の件数を月ごとに色分けしたグラフです。昨年度(H27)はリーマンショック前を上回る過去最高の求人数でした。そのため昨年度採用計画が出遅れたために充足できなかった事業所が多数残り、その事業所が昨年度出遅れた反省をもとに今年度採用計画を前倒ししたため6月の受領件数が過去最高となったようです。しかし、昨年度景気を後押ししていた円安効果やトヨタシエンタの生産量も落ち着きをもどしてきたこともあり、また、建設業界も、依然として東日本大震災の傷跡は深く沿岸部の復興状況は途上に状況であるにも関わらず、他県から新規参入してきた事業所も現在は東京オリンピックに向けて宮城県を撤退しつつあります。こうした状況から、全体的に昨年ほどの求人件数には及びませんでしたが、逆の言い方をすれば、安定期に入ったとも言うこともでき、しばらくはこの程度の求人件数で推移すると思われます。ちなみに大崎管内の高卒の就職希望者は約700人弱ですから職を選ばなければ全員就職できる分の件数は十分にあるという状況です。



◇内定の推移をみる

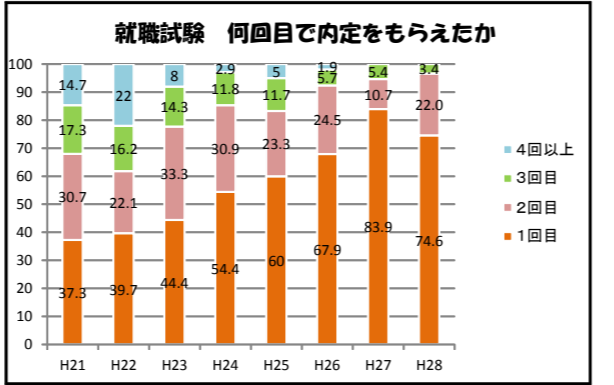
左の折れ線グラフは、本校3年生の過去9年間の内定状況の月毎の推移グラフです。今年の3年生はスタートがやや不調で9月末での内定率は県平均(46.5%)を下回る42.4%と出遅れましたが、その後の内定スピードは過去

最速で、11月では昨年の記録を上回り98%に達し、12月で100%に達しました。今まで様々な事情がからみ、就職では毎年だれか一人以上は就職が決まらず年を越すのですが、今年は年内で就職希望者は全員内定した形になりました。

大抵の高校では、就職内定率100%と謳っていても実は就職意欲をもたない生徒を分母からはずして100%にしており、実際には卒業後も進路未定の者が数人残るところが多いのですが、本校の場合はここ4年連続で正真正銘内定率100%で、全員4月から社会人として再出発することになります！

◇何よりも内定の中身が大事！

現在の好調な求人状況では、就職内定率を100%にすることは、それほど難しくありません。おそらく他校の就職状況も遅かれ早かれ100%になっているところが少なくないと思います。仕事や職種を選ばなければ簡単に内定率100%になるでしょう。しかし、「自分が働きたいと思ったところに、いかにして入社できるか？」あるいは「自分の特性に合った仕事にいかに就けるか？」が問題です。内定のスピードが早いということは、第一希望での内定を意味し、ここに本校進路指導部のこだわりがあります。右の棒グラフは何社目の就職試験で内定がもらえたのかを表しています。昨年ほどではありませんが、今年の3年生は歴代2位の**74.5%が第一希望に入社できた**ことを表しています。**2回目まででの内定率を合わせれば過去最高の96.6%**になりました。昨年と同様3回以内で全員内定が決まったことは喜ばしいことです。時間が経過すると、優良な求人からどんどん充足していきますので、1回目失敗しても落ち込んでいる暇はなく、気持ちを切り替えて次へ次へと動くことが肝心です。



◇就職内定の秘訣は応募前職場見学にあり！

左のグラフは、各年度の3年生が応募前職場見学に行った件数を表しています。昨年の3年生は高卒求人が公開された7月の時点から積極的に見学に行き、9月の過去最高の内定率につなげましたが、今年の3年生は7月に文化祭があったことや三者面談の実施が遅かったこともあり、職場見学への生徒の働きが多少鈍かったようで、ここの出遅れが9月の内定率に響いたとも考えられます。また、6月末のイギリスのEU脱退の報道は少なからず各企業の採用計画に影響があったようです。多数の企業が急遽採用計画の見直しがなされ、アルプス電気やトヨタ系列の関連企業は例年よりも遅れて7月末や8月はじめあたりにようやく求人を出してきました。それに応じて、生徒たちの職場見学も例年よりも8月に多く集中する形になりました。

しかし、そういう例年にない特殊な状況にあったことを思えば今年の3年生はよく動いた方だと思います。結果的には7～8月の職場見学の件数は昨年に匹敵するものになりました。

一発で内定した生徒で職場見学に行った回数の平均が約3回。うち、一番多く行った回数が5回でした。自分の目でしっかり見て、自分の意志で応募先をしっかりと決めたことが確実な内定につながっていることがわかります。

継続は力なり！=量質転化

「継続は力なり」という言葉は、よく耳にしたことがあると思います。「継続することが、自分の力となっていく」ということですね。哲学用語では、これを「量質転化」と言います。量=回数が質に変わる。簡単な例で言えば、腕立て伏せの回数を増やすことによって、「筋力」という質に転化したり、新しい英単語を何回も何回も書いたりすると、覚えて「知識」という質に転化する、というようなことです。製造現場では、毎日繰り返し同じ作業をすることによって、「技術」という質に転化します。「同じ職場で働き続ける」ということは、様々な質に転化していきます。。まず職場の人たちとの信頼関係、技術の向上、給料、待遇などなど。。

待遇面の話で言えば、学校を卒業してすぐの人を採用する場合も別の仕事を経験した人を採用する場合も、その会社で働き始める場合に試用期間というのが3ヵ月あります。4月から採用されると6月末までが試用期間で、何事もなければ7月から本採用として正規の正社員として扱われます。会社によっては、試用期間中は準社員扱い、試用期間を過ぎてから正社員扱いとして給与も待遇も区別するところが一般的です。通常、1年に2回、7月と12月にもらえる**賞与(ボーナス)の条件**(査定)もこの試用期間を過ぎてからが査定対象となります。ですから、翌4月から採用される3年生諸君は、「7月から正式に働き始めた人」として扱われるので7月にもらえるボーナスは普通は数千円程度です(ToT)。次の12月のボーナスから他の社員と同じ条件でもらえることになります。また、有給休暇は、働き始めてから6か月間はもらえません。これは、労働法規の中で定められているもので、6ヶ月間継続勤務し、なおかつ、出勤率が80%を超えている者に年10日間の有給休暇が与えられます。さらにその時点から1年ごとに加算されていき、働き始めて6年半で最大20日まで有給休暇がもらえることになります。働き始めてから6か月間は有給休暇がないので、休むとその分翌月の給料から引かれます。昇給は、試用期間を過ぎてから半年間、あるいは1年間の勤務態度を総合的に見て決められます。

。。と、このように同じ職場で働き続けると、どんどん待遇も向上されていくのが会社の仕組みです。これが、半年足らずで辛抱できずに辞めて別の会社に入ると、また**3ヶ月の試用期間からスタート**です。へタすると**負のスパイラル**に陥ります。「ここはやだ」「あそこもやだ」と職を転々とすると、いつまで経っても給料は初任給のまま、有給休暇ももらえない、ボーナスももらえない。。ということになります。現在、「**若年層の貧困**」というのが社会問題として取り沙汰されていますが、こういう「**辛抱できない若者**」、「**注意されたことを素直に受け入れられない若者**」が職を転々とし、このような負のスパイラルに陥った結果

だと考えられます。

そもそも、半年足らずで職を転々とする人は信用されませんので、良い労働条件のところにはまず就職できなくなります。そして、そのまま1年、2年と経過していくと、ますます採用条件が厳しくなっていきます。

「石の上にも三年」と言いますが、通常、3年以上同じ職場で働いて、はじめてキャリアとして認められます。

◆まずは、仕事のおもしろさを見出せ！

待遇面や労働環境は、自分が働き続けた結果として後でついてくるものであって、まずは働き続けることを優先して考えるべきです。多少給料が安くても、多少きつい仕事であっても、たとえ厳しい先輩がいたとしても、その仕事自体におもしろみややりがいを見出したら、きっと続けていけます。「この仕事が好きだから」「この仕事を極めたい」と思える仕事が見つければ、それが一生涯続けられる仕事なんだと思います。

夢中になって仕事をし、気が付いたら1ヶ月経ってて給料をもらっている。また、がむしゃらに働いているうちに、いつの間にか厳しかった先輩からも認められて、別の仕事も任せてもらえるようになり、給料もいつの間にか増えている・・・

職場の環境というものは、仕事を続けていくことによって、職場で信頼される存在となり、人間関係も良くなり、待遇も改善されていくものなのです。

平成28年度 岩出山高校3学年 進路先一覧			
【進学】			
◆四年制大学			
東北学院大学	文学部総合人文学科	指定校推薦	女1
仙台大学	体育学部健康福祉学科	AO	女1
石巻専修大学	人間学部人間教育学科	指定校推薦	女1
宮城学院女子大学	学芸学部英文学科	指定校推薦	女1
宮城学院女子大学	学芸学部日本文学科	指定校推薦	女1
東北文化学園大学	看護科	公募推薦	女1
◆短期大学			
仙台青葉学院短期大学	ビジネスキャリア学科	指定校推薦	女1
仙台青葉学院短期大学	こども学科	公募推薦	女1
宮城誠真短期大学	保育科	指定校推薦	男1 女3
◆看護学校			
英会仙台看護専門学校	看護学科	指定校推薦	男1
大崎市医師会附属准看護学校	看護学科	一般	男1 女3
◆大学校			
東北職業能力開発大学校	住居環境科	指定校推薦	男1
◆専門学校			
◇自動車系			
花壇自動車整備大学校	自動車科	一般	男1
◇サービス系			
仙台ウェディング&ブライダル専門学校	ウェディングプランナー科	AO	女1
◇保育系			
仙台こども専門学校	こども総合学科	AO	男1
◇医療・福祉系			
仙台医療専門学校	視能訓練科	AO	女1
仙台医療秘書福祉専門学校	医療事務科	AO	女3
仙台医療福祉専門学校	介護福祉学科	指定校推薦	男1
◇理美容系			
仙台ヘアメイク専門学校	美容本科ヘアスタイリスト専攻	指定校推薦	男1
仙台理容美容専門学校	美容科	公募推薦	女1
◇メディア系			
仙台コミュニケーションアート専門学校	音楽コミュニケーション科(声優専攻)	公募推薦	女1
仙台コミュニケーションアート専門学校	音楽コミュニケーション科(声優専攻)	AO	女2
◇公務員系			
仙台大原簿記簿記公務員専門学校	公務員チャレンジコース	指定校推薦	男1
仙台総合ビジネス公務員専門学校	総合公務員科	指定校推薦	男1
◆県内(仙台含む)			
コカ・コーライーストジャパ ^ン 株式会社	製造専門職		女1
株式会社 ハンサム 仙台事業部	美容アシスタント		女1
一般財団法人日本ボディセラピスト協会	アロマ/ラクサー/シェンセラピスト/エステティシャン		女1
◆県外			
株式会社 ういろう	販売		男1 女1
株式会社 ショウトク	輸入航空貨物取扱業務		男1
◆公務員			
自衛官	一般曹候補生		男1
自衛官	自衛官候補生		男2
大崎市役所	行政職		男1